

2008 年度

科目名 中国文学講読	対象学科・学年 教育教福 1 回生	担当者 福島 正
授業テーマ 中国古典文の訳解練習		
授業の概要と目標 漢和辞典を使いながら、中国古典文（漢文）の訳解練習を行う。 この授業を通じ、受講生諸君が、ある程度は自力で中国古典文の訳解ができるようになることを願っている。		
評価方法 学期末に筆記試験を行い、その点数によって評価を定める。		
テキスト な し	著者	出版社
参考書 『新 字 源』	著者 小川環樹ら 編	出版社 角川書店
授業スケジュール・内容 毎時間、中国古典文（漢文）の短い文章を印刷したプリントを配布し、授業の前半で受講生全員が漢和辞典を利用してその訳解作業を行う。その後、各自が解答例をもとに点検作業を行い、最後に教官が質疑に応じて解説する。 訳解する文章は、おおよそ 60 字～100 字程度を予定している。 ◆ この授業は、漢和辞典を引く作業が中心となります。したがって、毎時間、必ず漢和辞典を携行してください。参考文献欄にあげた『新字源』は、この授業で使用可能な漢和辞典の一例です。別の漢和辞典（電子辞書を含む）をすでに持っている学生は、ひとまずそれを利用してもかまいません。		